

プログラム名 (40字以内)	町長の秘書業務体験!～現役首長と向き合う行政の現場～		
団体名/所属	東京大学三四郎会		
活動区分	就労体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	2～4人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/8/31(日)～9/4(木)(予定)	主な活動予定場所	滋賀県日野町
プログラム実施の目的	地方公共団体のリーダーである町長に随従して就労体験をすることで、地方政治のしくみや地方の魅力とは何かを探る。民間企業等を経て任期を務める日野町長に学び、「人々の幸せ」のために行政は何をするべきか、何をすることが可能かを自らのこととして考えてほしい。また、自分が今までに学んできた「政治」についての学問的知識が、実際の現場でどのように使われ、またどんな点でギャップがあるのかに着目することで、将来の職業選択にも生かすことができる。		
具体的な内容(800字程度)	【得られる知見・経験できること】 ・町長という職業はどういうものか ・町長と職員/議会議員との関係 ・行政とメディアのかかわり方 ・地方政治と国家運営との共通点/相違点 ・政治家に必要な能力/適性とは何か ・「地方創生」のために必要な地方の力 ①事前プログラム ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、問題意識や目標の共有)を行う。 ・他の東京大学三四郎会インターンシップ企画と合同でマナー/スキル研修を行う。 ・日野町の行政や町長の堀江氏についての知識と関心を深める。 ②業務内容(例) ・町長と町役場各部署代表との協議に参加する。 ・町長の出先(講演会や挨拶回り、表彰式など)をはじめ地域イベントや町外出張に同行する。 ・議会関係行事に参加する。 ・秘書広報部門を中心に町役場の業務を体験し、実際の行政の現場を体感する。 ・町長と懇談し、地域行政とはどうあるべきか等現実的な政治のあり方を考える。 ・最終日に活動報告を町長はじめ日野町役場関係者に対して行う。 ③事後プログラム 活動終了後に、他の東京大学三四郎会の他企画参加者も含めたプレゼン報告会を行う。 *活動中の連絡はLINE又はメール(参加者の都合の良いように随時調節)を使用する予定です。		
【総額】参加するための費用	66,700円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	40,600円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	26,100円		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	関西の同窓会組織である「関西東大会」と連携した活動です。 (参考) https://kansaitodaikai.main.jp/category/support-university/ ・8月31日は日野町への移動日かつ関西東大会との懇談(大阪開催)を予定しています。 ・関西の市町村での活動も追加募集する可能性があります。 宿泊費については、記載した費用から助成制度等を活用して負担を軽減する予定です。 東京大学三四郎会は、「The 交流祭～世代間交流・循環プロジェクト」の共催や「ホームカミングデイ」への協力など、東京大学の活動にボランティアにかかわっている東京大学の若手卒業生によるネットワークです。構成員は約700人で、30～40代が中心となっています。三四郎会では2013年度より、企画実行のため組織された現役東大生による学生団体UTミライウオーカー(当時)との協力のもと、インターン企画をミライウオーカープロジェクトとして実施しています。(本企画は、このネットワークを通じ、主に東大卒業生が受け入れを担当します。)		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	(日野町役場ホームページ) https://www.town.shiga-hino.lg.jp/ (堀江町長のブログ) https://ameblo.jp/horie-kazuhiro/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.facebook.com/todaisanshiro		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		